

平成 28 年 11 月 10 日

各 位

雪印メグミルク株式会社
代表取締役社長 西尾啓治

平成 29 年 3 月期第 2 四半期 決算短信発表にあたり

当期のわが国経済は、緩やかな景気回復基調が継続しておりますが、海外経済に弱さがみられること等から、景気が下押しされるリスクがあり、先行きは不透明な状況が続いています。

個人消費は概ね横ばいの動きとなっておりますが、価格に見合う価値を求める消費者の動きが強まっており、食品業界においては、低価格品と高付加価値品のそれぞれで新たな需要が生まれる一方で、需要の落ち込む商品もあり、まだら模様の状況です。

このような経営環境下、当期においては「雪印メグミルクグループ中期経営計画（平成26年度～平成28年度）」に基づき、市場競争力を高める収益基盤の確立に取り組み、チーズやヨーグルトなどの主力商品の販売拡大、高付加価値品の拡売によるプロダクトミックスの改善、ならびに戦略投資設備の有効活用による生産性向上等に努めました。

販売が好調に推移している「恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルト ドリンクタイプ」の生産能力を増強し、8月より本格稼働したことも寄与し、飲料・デザート類セグメントは黒字幅が拡大し、収益の柱へと成長しています。

その結果、当期の連結売上高は2,993億円（前期比103.0%）、連結営業利益は108億円（前期比143.4%）と増収増益となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に閉鎖工場等の売却益があったことから、74億円（前期比62.9%）と減益になりました。

当期は、現在推進中の中期経営計画の最終年度にあたります。これまでの取り組みの成果により、収益構造が改善され、10月25日に見直した当期業績予想において、中期経営計画の目標数値を上回る見込みであります。下期につきましても、中期経営計画に掲げた取り組み項目を着実に実行し、目標の達成を確実なものとし、現在策定中の次期中期経営計画につなげてまいります。

また、役職員一同、引き続き、コンプライアンスと品質管理の徹底を図り、CSR経営を積極的に推進してまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上